

貯法：室温保存

有効期間：3年

承認番号 16100AMZ00113000

販売開始 1986年3月

制酸剤

日本薬局方 重質炭酸マグネシウム

重質炭酸マグネシウム「日医工」
Magnesium Carbonate

3. 組成・性状

3.1 組成

販売名	重質炭酸マグネシウム「日医工」
有効成分	1g中 炭酸マグネシウム（重質） 1g

3.2 製剤の性状

販売名	重質炭酸マグネシウム「日医工」
剤形・性状	内用細粒 白色のもろい塊又は粉末で、においはない。

4. 効能又は効果

○下記疾患における制酸作用と症状の改善

胃・十二指腸潰瘍、胃炎（急・慢性胃炎、薬剤性胃炎を含む）、
上部消化管機能異常（神経性食思不振、いわゆる胃下垂症、胃酸過多症を含む）

○便秘症

6. 用法及び用量

〈制酸作用と症状の改善〉

炭酸マグネシウムとして、通常成人、1日2gを数回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

〈便秘症〉

炭酸マグネシウムとして、通常成人、1日3～8gを頓用又は数回に分割経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

9. 特定の背景を有する患者に関する注意

9.1 合併症・既往歴等のある患者

9.1.1 心機能障害、肺機能障害のある患者

9.1.2 下痢のある患者

9.1.3 高マグネシウム血症の患者

9.2 腎機能障害患者

症状が悪化するおそれがある。

9.5 妊婦

治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

10. 相互作用

10.2 併用注意（併用に注意すること）

本剤は吸着作用、制酸作用等を有しているため、他の薬剤の吸収・排泄に影響を与えることがある。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
テトラサイクリン系抗生物質 (テトラサイクリン、ミノサイクリン等) ニューキノロン系抗生物質 (シプロフロキサシン、トスフロキサシン等) エチドロン酸二ナトリウム セフジニル	これらの薬剤の吸収が低下し、効果が減弱するおそれがあるため、同時に服用させないなど注意すること。	マグネシウムと難溶性のキレートを形成し、薬剤の吸収が阻害される。

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
大量の牛乳、カルシウム製剤	milk-alkali syndrome（高カルシウム血症、高窒素血症、アルカローシス等）があらわれるおそれがあるため、観察を十分に行い、このような症状があらわれた場合には投与を中止すること。	危険因子：高カルシウム血症、代謝性アルカローシス、腎機能障害のある患者

11. 副作用

11.2 その他の副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
代謝異常 ^{注)}	高マグネシウム血症
消化器	下痢等

注) 長期・大量投与により発現することがある。

18. 薬効薬理

18.1 作用機序

胃酸とは次式のように反応する。



本剤の制酸作用は弱く、その効力は酸化マグネシウムの約1/2である。瀉下作用も弱く、硫酸マグネシウムに劣り、その作用は腸管内で炭酸水素塩又は炭酸塩を形成することによる塩類下剤効果によると考えられる。また、胃酸を中和し炭酸ガスを発生する。非吸収性であり、アルカローシスを生じない¹⁾。

19. 有効成分に関する理化学的知見

一般的名称：炭酸マグネシウム (Magnesium Carbonate)

含水塩基性炭酸マグネシウム又は含水正炭酸マグネシウムである。

定量するとき、酸化マグネシウム (MgO：40.30) 40.0～44.0%を含む。

性状：水、エタノール (95)、1-プロパノール又はジエチルエーテルにほとんど溶けない。

希塩酸に泡立って溶ける。

飽和水溶液はアルカリ性である。

22. 包装

500g〔プラスチック袋〕

23. 主要文献

1) 第十八改正日本薬局方解説書 廣川書店 2021；C3142-C3147

24. 文献請求先及び問い合わせ先

日医工株式会社 お客様サポートセンター

〒930-8583 富山市総曲輪1丁目6番21

TEL (0120) 517-215

FAX (076) 442-8948

26. 製造販売業者等

26.1 製造販売元

 **日医工株式会社**
NICH-IKO 富山市総曲輪1丁目6番21